

〔法学新報〕第20巻6(232)号 明治43年6月1日

○中央大学実業懇話会 去月十九日午後五時より校内倶楽部に於て商科の主催に係る同会を開催し奥田会長、久米良作、田中文蔵の両副会長を始め武田明、高崎介蔵、中山佐市、小出範治郎氏及び伊藤理事、佐藤幹事等出席し伊藤理事は奥田会長に代りて開会の辞を述べ次に武田氏は起ちて其経験より得たる実業家の心得を懇切に述べ次に小出氏は自身往年の失敗談を為して婉曲に学生の軽跳浮薄を訓戒せらる時既に七時を過ぎたれば来賓学生一団と為り兼て用意の弁当を喫しつつ雑談に耽り食後田中氏は多年三井物産会社に於て経験せられたる社員採用試験の所感を述べて学生に戒告する所あり夫れより高崎氏は維新元勳(註)の洋行談を演し例に依り諧謔百出喝采声裡に演了し久米副会長の挨拶ありて一同散会したるは十一時頃なりし(幹事報)